自然公園名:足摺宇和海国立公園 公園事業名:大堂山園地

所 在 地:高知県幡多郡大月町 整理番号:077-園地24

## <写真>

整備後 (H23.12.7)





<b>&lt;</b> 椎	既況>	
自	植生	■樹林 □草原
· 然	12-	
条		口その他(
	地形	■海岸 □平野
''	エピハン	
		□里山 □高山 □湖沼 □河川
		□渓谷瀑布
		口その他(
	傾斜	■平坦地~緩傾斜
	195,041	□急傾斜
	土壌	□岩盤■砂礫
	<b>—</b> 3x	口粘性土 口火山灰土
	気象	□積雪が多い
	X13A	□風が強い
		□雨が多い
		口その他(
	危険	□有毒ガス
	箇所	□落石が多い
		■崩壊地
		□その他 ( )
社	歴史	口特徴的な歴史文化
会	文化	( )
条	周辺	( ) □ビジターセンター
件	施設	□宿泊施設
		□野営場
		□その他( ) □駅 ■バス停
	アク	□駅 ■バス停
	セス	□駐車場
		より徒歩 20 分 年間 0.2 万人
利	利用	年間 0.2万人
用	者数	最大一日 150 人
状	利用	■個人が多い
況	形態	■家族が多い
		■団体が多い
	季節	□ 1 季型
	型	□3季型
		■通年型
管	施設	口損傷が目立つ
理	管理	口汚れが目立つ
状		口危険箇所あり
況	<b></b>	□その他( )
	安全	■危険箇所への対応
	管理	口施設の荒廃の対応
	植生 管理	□植生の荒廃 ■展望阻害
	官埋	展室阻害 ■倒木
		■倒不 □その他 ( )
	管理	□正常
	体制	□□□□ ■委託
	ניווי ידין	□その他(

## 解説(整備の目的・注目すべき点・配慮事項など)

当該地は、景観がよく観光客も多く訪れるが断崖で危険な箇所があることから、安全性を確保するために木製の人止柵を設置した。景観と調和するよう色彩について配慮した(茶色)。

■仕 様:H=0.91m L=193.5m

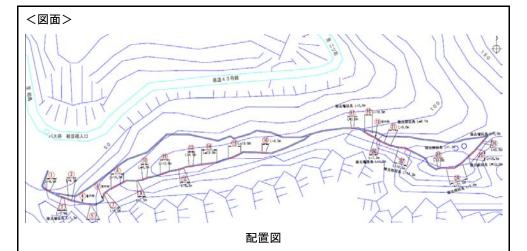
スギ材 加圧式防腐処理(ACQ)

色:茶色

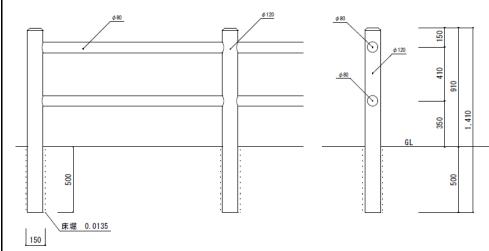
■施工年度:平成23年度

■施工者:高知県■設計者:高知県

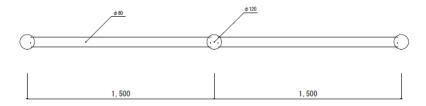
■問合せ先:中国四国地方環境事務所



## 断面図 S=1/30



## 平面図 S=1/30



特 記 事 項				
材	高知県産杉材			
מל	丸太材はロータリー加工			
加圧処理方	JIS A 9002による			
木材防腐剤	マイトレックACO (JIS K 1570該当)			
性能規格	JAS K4 (吸収量5.2kg/m3以上)	)		
表面仕上	木材保護塗料(ステンプルーフ)塗布	ī		

防腐木材については10年間の防腐保証を行う (社)日本公園施設業協会賠償責任制度による、 生産物賠償責任保険を適用する。

<整備費> ¥4,628,400 請負工事費

## 事例の評価

景観						
		а	b	С		
配	置					
形	態					
材	質					
色	彩					

当該地は、自然の景 観に配慮する必要が あったため、手摺(木 製)を設置するととも に材料の配色(茶色) も考慮し施工した。

環境						
		а	b	С		
地	形					
植	生					
動	物					
当該地は、ウバメガシ						
が多	く生	育し	てい	る		

ため、手摺の設置位置

に配慮し施行した。

手摺の支柱は、安心感 がある $\phi$ 120mm、横木 は、 $\phi$ 80mm とした。 自然公園名:日光国立公園 公園事業名:那須高原集団施設地区

所 在 地:栃木県那須郡那須町 整理番号:078-園地25

## <写真>

施工後



<b>&lt;</b> #	既況>	
自	植生	■樹林 □草原
然		□湿原
条		口その他(
件	地形	□海岸 □平野
		□里山 ■高山
		口湖沼 口河川
		□渓谷瀑布
		□その他( ) ■平坦地〜緩傾斜
	傾斜	■平坦地~緩傾斜
		□急傾斜
	土壌	口岩盤 口砂礫
		■粘性土 □火山灰土
	気象	■積雪が多い
		□風が強い
		□雨が多い
		□その他 ( )
	危険	口有毒ガス
	箇所	□落石が多い
		□崩壊地
		口その他()
社	歴史	口特徴的な歴史文化
会	文化	( ) ■ビジターセンター
条 件	周辺	
1+	施設	│ □宿泊施設 │ □野営場
	アク	□その他( ) □駅 □バス停
	セス	□□駅 □ハスド □ハスド □
利	利用	より徒歩 分 年間 万人
用	者数	最大一日    人
状	利用	□個人が多い
況	形態	■家族が多い
		■団体が多い
	季節	□ 1 季型
	型	□3季型
		□通年型
管	施設	口損傷が目立つ
理	管理	口汚れが目立つ
状		口危険箇所あり
況		□その他(
	安全	口危険箇所への対応
	管理	□施設の荒廃の対応
	植生	口植生の荒廃
	管理	□展望阻害
		□倒木
	Arte TITO	口その他(
	管理	□直営
	体制	□委託
		口その他(

# 解説(整備の目的・注目すべき点・配慮事項など)

駐車場と展望台の間に設けられた車止め。木で作られている。

■仕 様:木製 H=700m、加圧式木材保存処理(AAC)

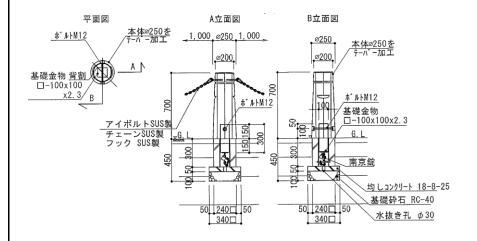
アイボルト (SUS) M10 08 (内径 24) 全長 128 ■施 エ 者: -

フック (SUS) D8 W41 L81 チェーン (SUS) 径 6 mm L=1200 ■施工年度:平成23年度

■施 工 者: 一 ■設 計 者: 一

■問合せ先:関東地方環境事務所

## <図面>



S=1/40

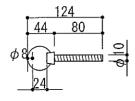
材料表				1基当り
名 称	寸 法	単位	数量	摘要
車止め	杉丸太 2等材	個	1.0	
総材積		m3	0.034	
南京錠	チェーン付	個	1. 0	
基礎ブロック	φ 240	個	1.0	
均しコンクリート	18-8-25	т3	0.01	
型枠	均しコンクリート	m2	0.07	
基礎材	RC40 t=10cm	m2	0.12	
防腐処理		m3	0.034	
基面整正		m2	0.12	

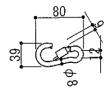
材料表	1:	式当り
名 称	寸 法	数量
チェーン	SUS製 チェーンφ6mm	2本
フック	SUS製 フック L=80	4個
アイボルト	SUS製 アイボルト L=12	4本

※車止め3基の間をチェーンで つなぐこと。

# アイボルト詳細図







#### 仕様

- 1) 主柱はすべて背割れを施すこと。
- 2) 杉材は間伐材とし防腐処理 (第四級アンモニウム化合物系木材 保存剤、AAC処理、無色) を施したものとする。

<整備費> ¥210,000/箇所 (車止め3基、アイボルト、フック、チェーン) (施設単体の価格)

### 事例の評価

事例♥2計画				
景観				
		а	b	С
配	置			
形	態			
材	質			
色	彩			

環境					
		а	b	С	
地	形				
植	生				
動	物				

機能的調和			
	а	b	С
利用性			
安全性			
維持管理			

自然公園名:日光国立公園 公園事業名:大丸園地

所 在 地:栃木県那須郡那須町 整理番号:079-園地26

#### <写真>

施工後



件 地形 □海岸 □平野 □里山 ■高山	
然 □湿原 条 ■その他( 件 地形 □海岸 □平野 □里山 ■高山	
│件│地形 │□海岸 □平野 │ │ □里山 ■高山	
│件│地形 │□海岸 □平野 │ │ □里山 ■高山	)
□里山 ■高山	
□湖沼 □河川	
□渓谷瀑布	
□その他(	)
┃  ┃傾斜  ┃■平坦地~緩傾斜	
□ □ 急傾斜 □ 土壌 □ 日 出盤 □ 砂礫	
土壌 口岩盤 口砂礫	
□ □ 出性土 □ 火山灰	<u>±</u>
気象 ■積雪が多い	
■風が強い	
□雨が多い	,
口その他(	)
│ │ 危険 │ ■有毒ガス	
│ │ │ 箇所 │ □落石が多い │	
□開場地	)
社 歴史 □特徴的な歴史文化	)
云   又元   (	
八   周辺   □ □ □ ファ ・	
┃	
	)
□その他( アク □駅 □バス停	
セス ■駐車場	
より徒歩 分 利 利用 年間 1万	
用 者数 最大一日 100 /	人
状 利用 口個人が多い	
況   形態   ■家族が多い	
□団体が多い	
季節 口1季型	
型    □3季型	
■通年型	
管 施設 ■損傷が目立つ	
│ 理 │ 管理 │ □汚れが目立つ │ 状 │ □ │ □危険箇所あり	
沢   □厄陕園所あり	١
安全 □危険箇所への対応	/
植生□植生の荒廃	
管理   □展望阻害	
┃	
	)
管理 □直営	
本制 ■委託	
	)

## 解説(整備の目的・注目すべき点・配慮事項など)

利用者の安全に配慮し駐車場周辺に木柵を設けた。観光地であるため、木のぬくもりが感じられるデザインにした。付近では硫化水素が発生するため、硫化水素に強い材質で変色しない木材保存剤を使用した。

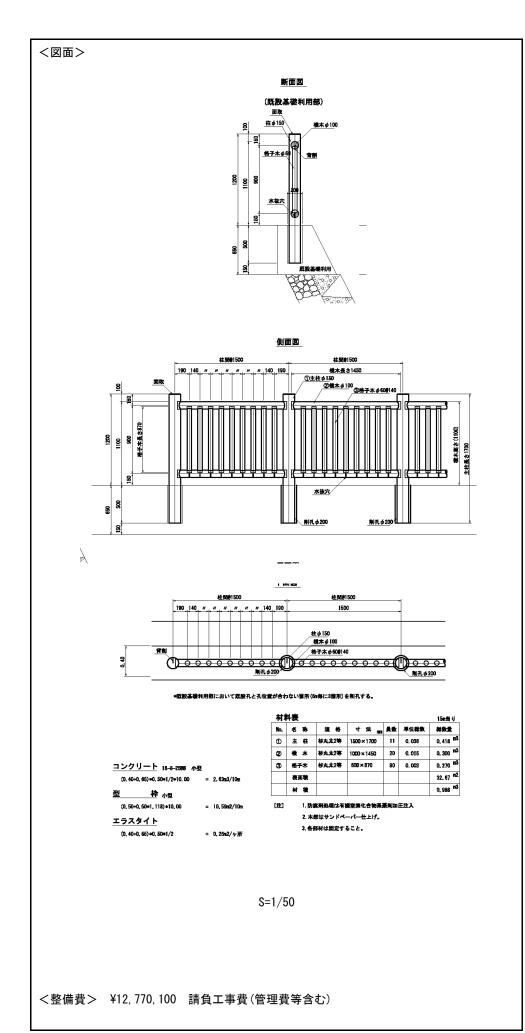
■仕 様:H=1,100mm、柱ピッチ1500mm

加圧式木材保存処理

■施工年度:平成22年度

■施 工 者:(株)高久組 ■設 計 者:日研測量(株)

■問合せ先:関東地方環境事務所



#### 事例の評価

景観						
		а	b	С		
配	置					
形	態					
材	質					
色	彩					
Ó	- A	~ T,	¥ 4.	_		

湿原の中の木道なの で景観を形成する要 素となっている。

環境					
		а	b	С	
地	形				
植	生				
動	物				

機能的調和					
	а	b	С		
利用性					
安全性					
維持管理					

自然公園名:西海国立公園 公園事業名:鹿子前園地

所 在 地:長崎県佐世保市 整理番号:081-園地 28

#### <写真>



整備前 (H22.11)



整備後(平成23年3月)

/#		
	既況>	D## =#E
自然条	植生	□樹林 ■草原 □湿原 □その他( )
件	地形	□その他( ) □海岸 □平野 ■里山 □高山
		□湖沼 □河川
		□渓谷瀑布 □その他( ) ■平坦地〜緩傾斜
	傾斜	□急傾斜
	土壌	□岩盤 ■砂礫 ■粘性土 □火山灰土
	気象	□積雪が多い □風が強い □雨が多い
	危険	□その他( ) □有毒ガス
	箇所	□落石が多い □崩壊地 □その他()
社会	歴史 文化	□その他( ) □特徴的な歴史文化 (
条件	周辺施設	( ) ■ビジターセンター □宿泊施設 □野営場
	アク セス	□その他 ( ) □駅 □バス停 □駐車場
利	利用	より徒歩 分 年間 万人
用	者数	最大一日 一 人
状況	利用 形態	□個人が多い □家族が多い □団体が多い
	季節 型	□ 1 季型 □ 3 季型 □通年型
管理状況	施設 管理	□損傷が目立つ □汚れが目立つ □危険箇所あり □その他( )
	安全 管理	□危険箇所への対応 □施設の荒廃の対応
	植生 管理	□植生の荒廃 □展望阻害 □倒木 □その他())
	管理 体制	□直営 ■委託
1	]	口その他( )

# 解説(整備の目的・注目すべき点・配慮事項など)

ビジターセンターと連携して環境学習や自然とのふれあい活動の場とするために、車椅子利用に対応した水飲み場を整備した。

■仕 様:1.045×0.6m×H0.7m 人造石

バリアフリー対応

■施工年度:平成22年度

■施 工 者:(株)西肥緑化土木

■設計者:サンコーコンサルタント(株)

■問合せ先:九州地方環境事務所

# <図面> グレーチング:ロ400×19 活味豆贄メッキ仕上げ 670 自在資水檢 粉水量:HIVPI3 人益石 ブラスト仕上げ 平面図 S=1/30 立軟器水栓 立軟和水栓 自在量水粉 自在機水栓 人益石 ブラスト仕上げ 200 グレーチング: ロボロ× 溶酵豆贄メッキ仕上げ 粉水當: HIVPI3 粉水量: HIVPI3 立面図 S=1/30 変量防止チェーン |MIZKL66インサート| | 再生)5997-30 | RC40 | 基礎 断面図 S=1/30

## 〈特記事項〉

- ・製品は、バリアフリー対応とする。
- ・グレーチング及びボルト類は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。

## 事例の評価

争りの計画				
景観				
		а	b	С
配	置			
形	態			
材	質			
色	彩			
	-11-		_	

環境				
		а	b	С
地	形			
植	生			
動	物			

機能的調和					
	а	b	С		
利用性					
安全性					
維持管理					

<整備費> ¥304,759(1基あたり) 直接工事費(施設単体の価格)

自然公園名:中部山岳国立公園 公園事業名:上高地園地

整理番号: 082-園地 29 所 在 地:長野県松本市

## <写真>

整備後



整備中



<b>&lt;</b> #	既況>	
自	植生	■樹林 □草原
然	112	
条		口その他(
件	地形	□海岸□平野
	לווטג	
		□里山 □高山 □湖沼 ■河川
		□渓谷瀑布
		口その他(
	傾斜	■平坦地~緩傾斜
		□急傾斜
	土壌	□岩盤 ■砂礫
		口粘性土 口火山灰土
	気象	■積雪が多い
		□風が強い
		□雨が多い
		□その他(
	危険	□有毒ガス
	箇所	□落石が多い
		■崩壊地
		口その他(
社	歴史	■特徴的な歴史文化
会	文化	( ) ■ビジターセンター
条	周辺	
件	施設	■宿泊施設
		■野営場
		□その他 ( ) □駅 ■バス停
	アク	
	セス	□駐車場
利	利用	より徒歩 10分 年間 万人
用	者数	年間   万人     最大一日   人
状	利用	■個人が多い
況	形態	■家族が多い
,,,,	ハンルス	■団体が多い
	季節	□1季型
	구 교 型	■3季型
	_	□通年型
管	施設	口損傷が目立つ
理	管理	口汚れが目立つ
状		■危険箇所あり
況		口その他(
	安全	■危険箇所への対応
	管理	口施設の荒廃の対応
	植生	■植生の荒廃
	管理	□展望阻害
		□倒木
		口その他(
	管理	□直営
	体制	■委託
		□その他(

# 解説(整備の目的・注目すべき点・配慮事項など)

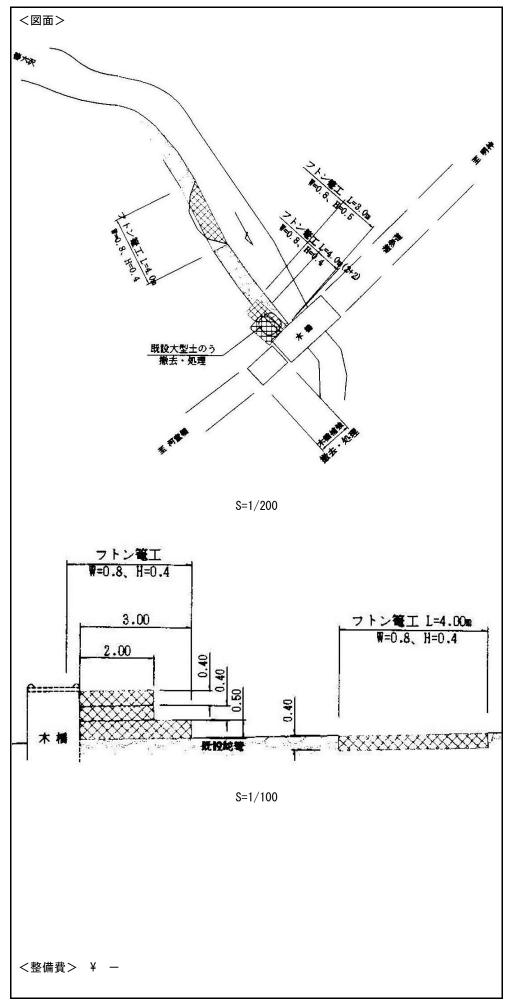
土砂流出により露出した木橋の橋台の改善を目的にふとん篭を設置している。

■仕 様:ふとん篭 W=0.8m、H=0.4m ■施工年度:平成23年度

■施 工 者:(株)大野建設

■設 計 者:

■問合せ先:長野自然環境事務所



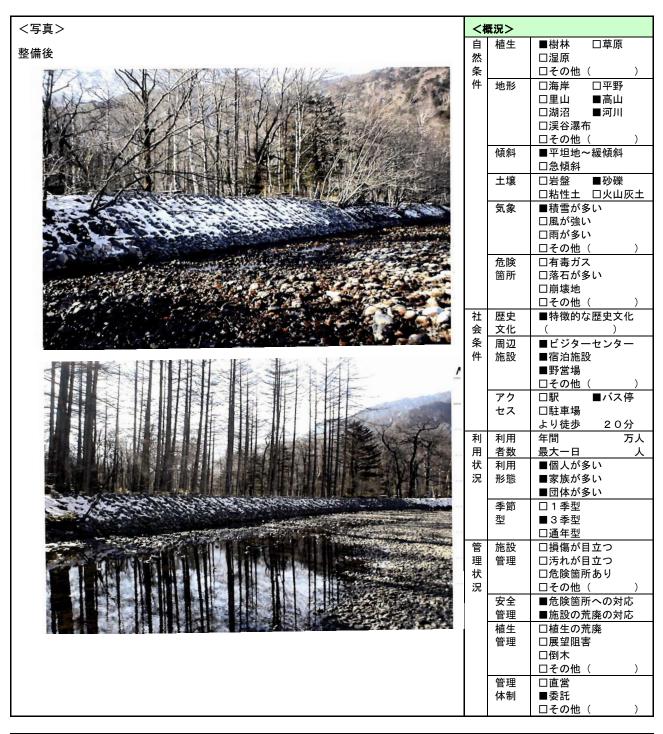
## 事例の評価

環境				
		а	b	С
地	形			
植	生			
動	物			

機能的調和					
	а	b	С		
利用性					
安全性					
維持管理					

自然公園名:中部山岳国立公園 公園事業名:上高地中ノ瀬園地

所 在 地:長野県松本市 | 整理番号:083-園地 30



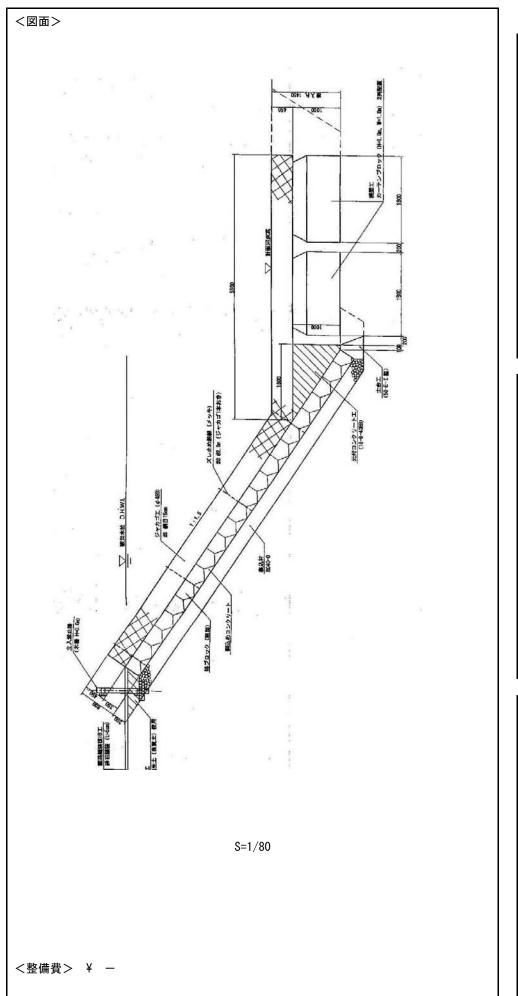
## 解説(整備の目的・注目すべき点・配慮事項など)

河川護岸の復旧。コンクリートブロックの上にじゃ篭を敷設し、自然景観との調和を図っている。

■仕 様:じゃ篭 φ 450、勾配 1:1.5 ■施工年度:平成 1 8 年度

■施 エ 者:矢木コーポレーション(株)

■設計者:(株)アンドー ■問合せ先:長野自然環境事務所



事例の評価

環境				
		а	b	С
地	形			
植	生			
動	物			

機能的調和				
	а	b	С	
利用性				
安全性				
維持管理				

# 園地 丸太土留め

自然公園名:伊勢志摩国立公園 公園事業名:横山集団施設地区

所 在 地:三重県志摩市 整理番号:084-園地31

#### <写真>

施工前



施工後



反対方向から撮影

< <b>†</b>	既況>	
自	植生	■樹林 □草原
然	11=	
条		口その他 ( )
件	地形	□海岸 □平野
		■里山 □高山
		□湖沼 □河川
		□渓谷瀑布
		口その他(
	ルエム	
	傾斜	■平坦地~緩傾斜
		□急傾斜 □岩盤 □砂礫
	土壌	口岩盤 口砂礫
		口粘性土 口火山灰土
	気象	口積雪が多い
	从外	□風が強い
		□雨が多い
		□その他(
	危険	□有毒ガス
	箇所	□落石が多い
		□崩壊地
社	歴史	□その他( ) □特徴的な歴史文化
会	文化	( ) ■ビジターセンター
条	周辺	
件	施設	□宿泊施設
		□野営場
		□その他( ) □駅 □バス停
	アク	□駅 □バス停
	セス	
		上り徒歩 〇分
利	利用	<ul><li>■駐車場</li><li>より徒歩 O分</li><li>年間 万人</li></ul>
用	者数	最大一日 人
状	利用	口個人が多い
況	形態	■家族が多い
		□団体が多い
I	季節	□ 1 季型
I	型	口3季型
	_	■通年型
管	施設	□損傷が目立つ
_	他 管理	□損傷が日立っ □汚れが目立つ
理	官埋	
状		口危険箇所あり
況		□その他( )
	安全	□危険箇所への対応
	管理	口施設の荒廃の対応
I	植生	口植生の荒廃
I	管理	口展望阻害
I		□假主阻□□
		* * *
I	44	口その他()
I	管理	■直営
1	体制	口委託
L	<u> </u>	口その他(
	•	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

## 解説(整備の目的・注目すべき点・配慮事項など)

横山集団施設地区の展望台へ続く園路整備に伴い土留工を設置した。自然景観と調和し、時の経過とともに植物が法面を覆うことで法面が安定するように、丸太による土留めとした。

■仕 様:H=1m、L=66.7m

スギ丸太 加圧式木材保存処理

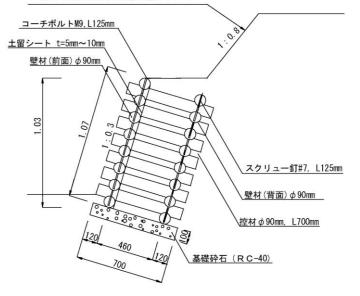
■施工年度:平成22年度

■施 工 者:丸文工業(株)

■設 計 者: CSG コンサルタント(株) ■問合せ先:中部地方環境事務所

## <図面>

## 張芝 (間伐材利用生分解型植生マット)



木材:木材は削り丸太とし、三重県杉間伐材を使用する。 木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。 木材は全て加工後、タナリスと同等のものを加圧注入処理する。 加圧注入方法はJIS A 9002による。

ボルト類:ボルト・コーチスクリューは特記無き限り、溶融亜鉛メッキとする。 木ネジ類は特記なき限り、ステンレスとする。

S=1/30

## 事例の評価

景観				
		а	b	С
配	置			
形	態			
材	質			
色	彩			
自然素材を使うこと				

で景観に調和してい る。

環境				
		а	b	С
地	形			
植	生			
動	物			
植物	が生	える。	<b>o</b>	

機能的調和				
	а	b	С	
利用性				
安全性				
維持管理				

<整備費> ¥33,000/m³ − 直接工事費(単価)